

幕別相撲連盟

沿 革

幕別相撲連盟は十勝相撲連盟の前理事長故森脇仁氏等の呼びかけにより氏等の目標である健全な青少年の育成、体力の増進、古来からの精神を継承する場として町内の相撲を愛好する有志達により昭和60年7月に発足した。

当連盟の結成にあたっては、インターハイ等に出場の経験のある小師国光氏が有志達を集め、後援会作りを進められ苦勞の甲斐あって選手も集まり、また後援会も無事発足することができた。幕別相撲連盟の初代会長（現会長）には堂前 豊氏、副会長には森若幹雄氏、小師国光両氏が選出された。

昭和60年には幕別神社境内にしかなく、これから相撲を普及させるためには、各地域に土俵を設置しなければならないということで十勝相撲連盟からの要請もあり幕別温泉ホテル前の神社前に特設相撲場を設置した。そして昭和60年10月6日、幕別町、幕別町観光協会、十勝相撲連盟等の御好意により第一回全十勝相撲選手権大会を幕別町産業祭に参加させていただくことができました。現在、全十勝相撲選手権大会は広尾町に場所を移し13回の大会を数え、また幕別町においては全十勝小学生対抗相撲選手権大会が行われ12回の大会を行うにいたっています。

現 況

●平成9年度事業

- 4月26日 北海道相撲連盟総会（札幌市）
- 5月10日 十勝体育団体協議会総会（帯広市）
- 5月23日 十勝相撲連盟総会（帯広市）
- 6月6～8日 中学生短期合宿（札幌市）
- 6月7日 平成9年度審判講習会（札幌市）
- 6月21日 第51回全道高校生相撲選手権大会（札幌市）
- 6月27～28日 小中学生短期合宿（幕別町）
- 6月29日 第8回わんぱく相撲夕張場所（夕張市）
- 7月5～6日 津別相撲少年団交流会（津別町）
- 7月13日 小学生相撲選手権帯広大会（帯広市）
- 7月27日 第22回北海道体育大会兼第52回国民体育大会北海道予選（恵庭市）
- 7月下旬 中学生短期合宿（札幌市）
- 8月2日 第18回全道中学校相撲大会（札幌市）
- 8月3～5日 （予定）少年相撲交流会（夕張市）
- 9月15日 第12回全十勝小学生対抗相撲選手権大会（幕別町）
- 9月21日 第13回全十勝相撲選手権大会（広尾町）

●現 役 員

顧 問	林 照男	富谷 晴一
会 長	堂前 豊	
副 会 長	森若 幹雄	小師 国光
理 事	佐藤富士雄	伊藤 光一
	大上 光一	田村 征治
	村田 義雄	森若 勝男
	横山 誠	館 昌利
監 査	日野 安弘	笹原 政清
事 務 局 長	堂前 護	
事 務 局	森脇 豊	鉾建 賢治
	大野 俊直	



現会長
堂前 豊

●経過と活躍

十勝相撲連盟による第一回全十勝相撲選手権大会が幕別の産業祭で行われることになり、この大会の大会長でもある故森脇 仁氏の指導のもとに選手の代表的な存在である小師国光氏が幕別温泉前特設相撲場の土俵作りを手始めに行うことになった。諸先輩方の御指導のもとに土俵作りに入ったわけであるが天候にも恵まれず土俵の土が固まらずに大変苦勞されたようだ。また、選手の練習も小師氏が行わなければならなかったのでこの大会が終わるまでの氏の御苦勞は並大定のことではなかったと思われる。このような苦勞の甲斐あって第一回大会を行うことができたのである。幕別相撲連盟の戦績は後にも記述するが団体、個人ともに優勝の特筆すべき成績であった。この様に第一回大会が無事に終りその後も第二回大会、第三回大会も幕別で行われることになったのである。

一方、全十勝子供相撲大会が昭和61年9月に広尾町で行われた。子供相撲の大会も幕別町では町の春祭り、秋祭りに行われる余興のようなものしか行われていなかったので選手を集めるにもなかなか集まらず、幕別小学校の先生方に大変迷惑をかけました。

先生方の協力で何とか選手も集まり第一回の全十勝子供大会に出場することができました。また小学校2年生からこの大会（小学生対抗相撲選手権大会）に参加している選手が札幌の高校で相撲をやるどころまでになりました。これも一重に当協会の副会長である小師氏が自宅の相撲道場でけいこをつけているたまものであります。

●幕別相撲連盟の戦績

全十勝選手権大会のあしあと

昭和63年10月2日	団体準優勝	幕別A	個人準優勝	武藤 利浩
平成元年10月1日	団体3位	幕別A	個人優勝	武藤 利浩
平成2年10月7日	団体準優勝	幕別A	個人優勝	小師 国光
平成3年9月22日	団体優勝	幕別		
平成4年9月20日	団体準優勝	幕別A	個人準優勝	小師 国光

平成5年9月19日	団体 3位	幕別A		
平成6年9月18日			個人 3位	武藤 利浩
平成7年9月17日	団体 優勝	幕別	個人 優勝	武藤 利浩
平成8年9月22日	団体 優勝	幕別	個人 優勝	武藤 利浩
			個人準優勝	小師 国光
平成9年9月21日			個人準優勝	武藤 利浩

全十勝小学生対抗相撲選手権大会

平成5年	団体の部	準優勝	幕別小学校
	個人の部	3年生	優勝 伊瀬谷耕大
			準優勝 市川 憲一
		6年生	優勝 佐々木秀典
平成6年	団体の部	準優勝	幕別小学校
	個人の部	1年生	優勝 加藤 智啓
			準優勝 長瀬 弘人
		3年生	3位 宇佐美 哲
		4年生	3位 市川 憲一
		5年生	準優勝 助川 俊文
平成7年	団体の部	3位	幕別小学校
	個人の部	4年生	3位 森脇 初実
平成8年	団体の部	優勝	幕別小学校
	個人の部	1年生	準優勝 風間 諒太
			3位 久保 泰輝
		2年生	優勝 渡辺 健一
		3年生	優勝 長瀬 弘人
		4年生	準優勝 高橋 啓人



平成9年度

第12回全十勝小学生対抗相撲選手権大会

兼 第2回全十勝中学生相撲選手権大会（開催地 幕別）

団 体 戦 優 勝 札内南小学校
 準優勝 稲田小学校
 第3位 幕別小学校

個 人 戦

	優 勝	準 優 勝	第 3 位
1 年 生	堤 文 太	山 田 一 平	中 川 翔
	広尾第二小学校	広尾第二小学校	広尾小 学 校
2 年 生	山 野 裕 市	三 好 康 介	田 中 良 直
	白 人 小 学 校	更 別 小 学 校	更 別 小 学 校
3 年 生	二 瓶 亮	岡 崎 雄 介	渡 辺 健 一
	札内南小学校	北 栄 小 学 校	幕 別 小 学 校
4 年 生	今 泉 絢 翔	伊 藤 寿 樹	加 藤 智 啓
	稲 田 小 学 校	広尾第二小学校	幕 別 小 学 校
5 年 生	高 橋 啓 人	佐 久 間 将 司	成 田 雅 人
	幕 別 小 学 校	広尾第二小学校	札内南小学校
6 年 生	岩 渕 洋 平	永 井 慶 典	中 島 一 樹
	木 野 東 小 学 校	音 更 小 学 校	札内南小学校
中 学 生	岩 渕 正 晃	勝 田 昌 憲	森 庸 介
	緑 南 中 学 校	帯 広 第 五 中 学 校	豊 頃 中 学 校

目 標

日本の国技である相撲は古代より日本民族の生活に即して発達した伝統文化であり、大気に肌をさらし、素足で土を踏みしめ、激しくぶつかり合う男性的で勇壮なスポーツである。

本道は過去幾多の名力士を輩出した相撲大国であり、特に郷土十勝においても広尾町出身の横綱北勝海、また芽室町出身の横綱大乃国を輩出し、十勝に住む相撲愛好家は非常に楽しみである。ここ数年幕別で行われている全十勝小学生対抗相撲選手権大会を契機として、幕別町民はもとより十勝管内の人々の相撲への関心が一層高まることを期待して止まない。

また、近年青少年の非行増加が大きな社会問題となっているが、日頃の厳しい鍛練により強健な身体と不屈の精神を養う相撲道は次代を担う青少年の人間形成に極めて有効なスポーツであり、当連盟においても、この普及、奨励に努める考えでいます。

